

# 環境衛生課からの お知らせ



吉備庁舎 環境衛生課  
清水行政局 建設環境室  
52・2111

## プラスチックごみの 禁忌物

プラスチックごみとして出されたごみは、製鉄所のコークス炉で熱分解され、炭化水素油などのプラスチック原料や鉄鉱石の還元剤として再利用されます。製鉄所においても手作業で異物を取り除く作業工程があります。そのため『禁忌物』と呼ばれる異物が混入していると、引き取りを拒否されることがあります。幸いなことに有田川町の分別は今のところよくできています。今後も次のような禁忌物を入れないように十分お気を付けください。

### ■禁忌物

- 危険物…ガスライター、乾電池、カミソリ、ガラスの破片など
- 医療系…注射器、点滴セット、チューブなど

## 紙製のカップめん容器は 『燃えるごみ』です

近年、発泡スチロール製よりも製造過程において温室効果ガス排出量の少ない紙製のカップめん容器が増えています。

発泡スチロール製の容器と紙製の容器で、ごみの分別方法に違いがありますのでご注意ください。

発泡スチロール製容器  
分別方法  
『プラスチックごみ』



紙製容器  
分別方法  
『燃えるごみ』



※紙製のカップめん容器は内側がコーティングされており、臭いも付着している場合が多いため、町の分別方法として「雑がみ」ではなく、「燃えるごみ」として出してくださいませ。うご協力をお願いします。

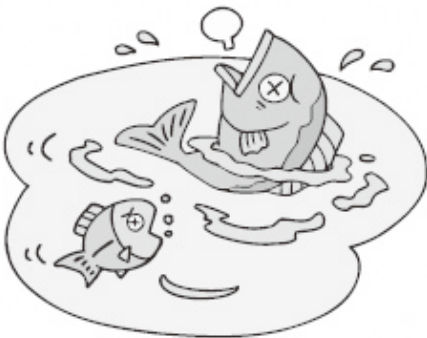
## 川を大切に！ 『きれいだしまつよう』

毎年、夏前になりますと町内の川で「魚が死んで浮いている」などの通報を受けます。夏場の猛暑で水温が高くなり、酸欠が原因になることもありますが、やはり多くは農薬散布の方法や残農薬をそのまま川に流してしまうなどの不適切な廃棄処分によるものと推測されます。

また、農薬以外にも、事業所（工場や飲食店）からの廃油などが流出する事故も数件あります。

魚が死ぬと付近一帯に異臭を放ち、大変迷惑であり、それ以上に生態系を崩す大きな問題です。

川への残農薬などの放流は絶対にしないでください。



## ハエや蚊などの 害虫発生予防について

これからハエや蚊などの害虫が発生する季節になります。町内でも地域によってはハエの大量発生が起こっています。



ハエの主な発生源は畜舎、有機肥料、腐敗した果物・野菜、ごみ集積場などがありますので、管理には特に注意をお願いします。

## 『株式会社はまだ』様から トイレットペーパーを いただきました

町が古紙の回収を委託している業者である、「株式会社はまだ」様から4月7日、トイレットペーパー約200箱（1万2,000ロール相当）を寄贈していただきました。各学校や保育所、ALEC、（備蓄品として）各防災関係施設へ配らせていただきました。

